

# 森林と林業

一般社団法人日本林業協会

2022年

12月

トピックス

森林（もり）の仕事ガイダンス2022  
4都市で開催

緑の論壇

「新しい林業」経営モデルへの挑戦  
現状から変わるためには何が必要か？

鹿児島大学農水産獣医学域農学系 農林環境科学科 教授 寺岡行雄

第45回全国育樹祭おおいた2022  
～豊かなおおいた 森林を育み 木と暮らし～

発行 一般社団法人日本林業協会

〒112-0004

東京都文京区後楽1丁目7番12号  
林友ビル3階

TEL：03（6801）8931

FAX：03（6801）8932

編集・発行人：島田泰助

発行日：毎月1回25日発行

# 第四十五回全国育樹祭おおいた2022

## 豊かなおおいた 森林を育み 木と暮らし

令和四年十一月十二日（土）から十三日（日）にかけて、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席のもと、大分県豊後大野市及び大分市にて第四十五回全国育樹祭が開催されました。

本大会では、子どもたちに大分の魅力ある森林・林業に興味・関心を持ってもらい、担い支える人材へと育成すること、木を伐って使い・植えて育てる森林づくりの環を、県民総参加で広げること開催の方針とし、「豊かなおおいた 森林（もり）を育み 木と暮らし」を大会テーマとして開催されました。

### （全国育樹祭とは）

健全で活力ある森林を育て、次の世代に引き継ぐことの大切さを伝えるため、昭和五十二年から毎年秋に開催されている国民的な緑の祭典です。

全国植樹祭で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を、皇族殿下がお手入れされる育樹運動のシンボリック行事

と、皇族殿下によるおことばや各種表彰等の式典行事のほか、参加者による育樹活動等の行事が行われます。

### （大分県での開催実績）

大分県では、昭和五十二年九月十六日に、「豊かな緑のふるさとづくり」を大会テーマとした第一回全国育樹祭が別府市志高湖畔で開催されています。本大会は、四十六年ぶり二回目の大分県での全国育樹祭開催となりました。

### （お手入れ行事）

十一月十二日（土）には、豊後大野市「大分県民の森 平成森林公園」でお手入れ行事が開催されました。

両殿下は、お手入れに先立ち、平成十二年に開催された第五十一回全国植樹祭の概要や大分県の森づくりの状況が記されたパネルをご覧になるとともに、緑の少年団の説明に熱心に耳を傾けておられました。



緑の少年団にお声がけされる皇嗣同妃両殿下

天皇皇后両陛下がお手植えされたアカガシとカツラに、両殿下がお手入れされました。

お手入れ後は、両殿下の先導やパネル説明、お手入れの介添えを担った緑の少年団に笑顔でお声がけされるなど、大野小学校校みどりの少年団、日田林工高等学校生の皆さんにとっても貴重な機会となりました。



アカガシにお手入れをされる皇嗣殿下



カツラに施肥をされる皇嗣同妃両殿下（写真提供：大分県）

### （式典行事）

十一月十三日（日）には、大分市「昭和電工武道スポーツセンター」で式典行事が開催されました。

式典では、大会会長である尾辻秀久国土緑化推進機構最高顧問（参議院議長）、広瀬勝貞大分県知事の挨拶の後、皇嗣殿下から「現在、我が国の森林の約四割に相当する人工林の半数が、本格的な利活用の時期を迎えています。この豊富な資源を有効に活用するとともに、循環利用に向けて計画的に森林を再造成し、健全な姿で次の世代へと引き継いでいくことは、私たちに課せられた大切な務め」とのおことばを賜りました。



皇嗣殿下によるおことば

その後、全国での育樹活動や大分県の森林の育成に功績のあった方々への表彰、全国緑の少年団表彰の受賞団への「緑の贈呈」等が執り行われました。

さらに、メインテーマアトラクションとして、昭和五十二年第一回全国育樹祭の開催地である大分県で、森林を守り育てることの大切さと森林と人との関わりについて未来を担う子ども達と考える「始まりの地から、未来へ」をテーマとした、トークショー、歌唱、演舞が披露されました。最後に、国土緑化推進機構の濱田純一理事長による「大会宣言」等が行われ、式典は幕を閉じました。



野中農林水産副大臣による表彰  
（農林水産大臣賞 清瀧 毅氏（大分県））

### （第四十五回全国育樹祭 大会宣言）

一 森林の有する多面的機能が将来にわたり十分に発揮されるよう、「国民参加の森林づくり」を力強く進める。

一 健全で豊かな森林を育み、木材利用を促進することで、「木を伐って使い、植えて育てる」森林資源の循環利用の確立を目指す。

一 森林を守り育て、木のある暮らしを未来に引き継いでいくため、次代の森林づくりを担う青少年の育成に一層取り組んでいく。



メインテーマアトラクション ～始まりの地から、未来へ～



第45回全国育樹祭  
シンボルマーク



第45回全国育樹祭  
ポスター原画 「支え」

### （来年の全国育樹祭）

次回の第四十六回全国育樹祭は、「誰かじゃない 僕が育てる 緑と日本」を大会テーマに、令和5年秋に茨城県で開催される予定です。

茨城県では、戦後植林された人工林が森林資源として充実し、本格的な利活用を迎えており、木を植え、育て、伐採し、木材を有効活用して再び植える「緑の循環システム」の構築を図ることが必要となっている背景等を踏まえ、「CHALLENGE（挑戦）・CHANGE（変革）・COOL（格好良さ）」を基本コンセプトとし、未来に繋がる新しい林業の姿を全国に発信することとしています。